

## 会議録

会議の名称	下水道審議会 第3回会議
開催日時	平成18年7月5日 午後1時58分から午後4時08分まで
開催場所	防災センター6階 講座室
出席者	<b>【委員】</b> 小舘会長、浦田副会長、井上委員、伊村委員、海老沢委員、 梶谷委員、久野委員、小林委員、本田委員、水井委員 <b>【事務局】</b> 高根都市整備部長、本橋下水道課長、鈴木課長補佐、秋山副主幹 伊田主任、小林主任
議題	1 下水道財政と使用料について（講演） 2 その他
会議資料の名称	下水道財政と使用料（東京都下水道局）
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	

発言者名：

発言内容

事務局（本橋課長）開会

定刻より若干前ですが、ただいまから第3回下水道審議会を開催します。

本日、御欠席の委員の方はありませんので、定足数全員ですのでよろしくお願い致します。

小館会長

きょうは、議題1「下水道財政と使用料について」、議題2は「その他」です。  
まず「下水道財政と使用料について」、事務局から解説をお願いします。

事務局（本橋課長）

議題1「下水道財政と使用料について」を説明。

《「下水道財政と使用料について」の研修（講演会）の進め方と市職員の参加についての報告》

小館会長

それでは、隣の部屋に移動して講義を聞くことにしたいと思います。  
（委員、別部屋に移動）

## 1 下水道財政と使用料について

《講演》午後2時05分～午後3時45分（質疑含む）

「下水道財政と使用料について」

講師 東京都下水道局総務部理財課財政調査担当係長 星野 様

《質疑等》

久野委員

污泥でいろいろなものをつくって売っているが、この利益はどこに入るのですか。

講師（星野）

全体の割合にすると、それほど大きな収入にはなっていないが、「下水道経営費の財源」（P-4）の「その他」の水色の部分に資源を売却した収入などが入っている。

小林委員

一点目は「下水道経営費の内訳」（P-3）の維持管理費の中で、人件費と本当の経費の割合は。

もう一点は、下水道料金のほかに一般会計繰入金（の財源）は、市民税なのか都民税なのか、その中で我々市民が負担している割合以下なのかということをお願いしたい。

講師（星野）

一点目の質問について、細かな部分は、今数字が手元がないので回答できないが、局全体の定数が今3,300人ぐらいで、このうち維持管理部門に従事しているのは2,00

0人強いる。その人間がそれぞれ管渠、ポンプ、処理場などの経費の中に人が張りついている形になる。例えば「維持管理費の内訳」(P-3)の管渠費23%の中には、清掃や補修工事など、実際に下水道管を維持管理している経費もあるし、ここに張りついている人件費も含んでいる。そういった形で維持管理費全体が構成されている。

もう一点、一般会計繰入金の財源として、市民税や都税がどれくらいの負担かということですが、一般会計からの繰入金として会計間のやりとりをしている中では、一般会計がどのようにその部分を手当てしているかということとは分からない。一般会計には様々な税収があり、それをすべてトータルした中で、そのうちの何パーセントが下水道事業会計へという形になっていると思う。

梶谷委員

地方公営企業法の適用の団体数、事業数が約4~5%ということで、東京都も条例で適用しているということですが、あと残り95%以上は法不適用ということで、なぜ公営企業法が適用になっていかないのですか。

あと、一般会計からの繰入金うち東京都では基準内繰出と基準外繰出は何パーセントずつですか。

講師(星野)

現在、東京都では、100%基準内の繰出しになっている。いわゆる、赤字分を補てんするために一般会計から繰り入れてもらっている部分はゼロである。料金で回収すべき部分はすべて料金で回収している現状である。

次に、なぜ、地方公営企業法の非適用の団体が多いのかという質問ですが、あくまでも私見ですが、一般会計からの基準外の繰出し、赤字補てん分の繰出しが残っている、いわゆる独立採算が成立していない段階の団体が多く、まずは、その部分(基準外)の解消を行い、その上で法適用と考えているのではないかと思う。

伊村委員

(料金を)値上げしてこうなるという、「総合資金収支」というグラフ(P-7)があったが、あれは実際のところ、そのとおりにいったのですか。

講師(星野)

実際には、若干収入が上回った。13年度末の累積でゼロ(収支均衡)にはならず、結果としては少しプラスになっている。

伊村委員

回復分のカーブみたいなものも大体予測どおりですか。

講師(星野)

そうです。大体、傾向はこのような形で実績が上がりました。

小館会長

何が違ったのですか。

講師(星野)

要素はいろいろあるが、例えば予測していたより水量が多かったとか、企業債の利子が見込み利率より実際の借入利率が低ければ、当然財政にとっていい影響になる。結果とし

て、その部分が上に振れる結果となる場合もある。

そういったいろいろな要素が組み合わさって収支均衡が図られたということである。

小館会長

（「下水道料金表」（P-9）は）9段階に分かれているが、一番基本的な部分、世帯数として、需要が一番多くなっているのは、どのあたりで、何パーセントですか。

講師（星野）

大体ゼロから50？あたりの排出量の中に全体数の96～97%がこのランクの中に入っている。

小館会長

（「各都市の料金比較」（P-9）の排出量が）24m<sup>3</sup>だったので、あれが平均かと思っていた。

講師（星野）

24m<sup>3</sup>が4人世帯ぐらいで使う平均値ということで、各都市の料金比較をするようなときに使っている。大体24？ぐらいが4人世帯の平均になってる。

ただ、それが今は二世帯とか単身世帯といった世帯数が増えているので、だんだん小口の方にシフトしている状況にある。

小館会長

そうすると、だんだん最近は収入が減ってきたということですか。

講師（星野）

一般家庭の部分と大口の部分と料金をトータルしますと、ここ2～3年、横ばいぐらいの料金収入になっている。

ただ、内訳として一般の御家庭からの料金については若干右肩下がりにになっている。水量はそれほど変わっていない。ただ、料金だけが若干落ちてきている傾向にあり、ちょっと厳しい状況になってきている。

小林委員

今の料金の説明は、東京都区部の内容で、西東京市は流域下水道なので、参考ということですね。

講師（星野）

はい。

小館会長

星野さん、どうもありがとうございました。

（拍手）

それでは、終わりましたので、休憩後、委員の方は別室に移動してください。

（委員、元の部屋に移動）

## 2 その他

小館会長

よろしいでしょうか。  
それでは、会議の議題2「その他」です。

事務局（本橋課長）

議題2「その他」の一点目として、第1回会議録の内容確認と承認について、また承認後、順次公表していく旨を説明。

《事務局の説明に対し異議なし。第1回会議録を承認し、公表することに決定》

事務局（本橋課長）

議題2「その他」の二点目として、今後の開催日程について説明。

《日程調整の結果、以下のとおり決定した。

第4回 7月26日（水）午後2時から 防災センター6階 講座室  
第5回 8月23日（水）午後2時から 防災センター6階 講座室  
第6回の開催日時は、次回（第4回）開催時に調整する。》

小館会長

次の4回目は、今日の西東京市版の説明をしてもらうということから実際の審議として入るわけですね。

事務局（鈴木課長補佐）

まず、下水道の財政状況ですとか、西東京市の置かれている下水道の状況などについて説明したいと考えています。

小館会長

（今日の講演で）特定の15都市の料金比較がありましたけれども、それにプラスして西東京市の料金がありましたね。あれの多摩版というか。

事務局（鈴木課長補佐）

はい。このほかに他市との水準の比較ができるような補足資料をつくりまして、間に合えば開催通知に同封させていただきますので、よろしくお願いします。

海老沢委員

最終的に、値上げをするとすると、3月の議会に出すわけですか。

事務局（本橋課長）

今、スケジュールとして私どもが予定しているのは、年明けの3月に下水道条例の一部改正を予定したいと思っています。

久野委員

素朴な質問ですが、公営事業というものは、どうして独立採算制的にやらなければならないのかと。税金を納めているのだから、税金で補てんしても何らおかしいことではない

という考え方もあると思うのです。だけれども値上げしなければいけないとなると、公営企業というものはこうあって、こうだとか、何か理念的なものがあると、非常に話しやすいと思います。それをあいまいにしまうと、ただお金が足りないから値上げすればいいとなると何か短絡的な気がするが。

海老沢委員

一番簡単なのは、市民税を上げることなのです。それをやればいいのだけれども、ただそれはできない。

小館会長

だから、ある程度、ここで納得するようないろいろな角度から意見を出し合うということが必要だと思います。

小林委員

私、思うのですが、皆お金を払っているわけです。収入と支出のバランスは合うわけです。受益者負担というのは、実はその一部であって、このほかに一般財源からも行っているわけです。そうしたら、一体幾らかかっているのだということを、やはり全部ここで明らかにしてもらって、はっきり納得できる材料と議論があればいいと思うのです。

小館会長

だから、自分が納得するようにどんどん質問をしてもらえば、何となく不満なまま終わったのではだめで、各人が納得するような質問をして、納得する努力をしていただければ落ち着くということだと思います。

今日はどうも御苦労さまでした。また次回、よろしくお願いします。

午後4時08分 閉会